

目次

[今週号は 2022 年 8 月 29 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：ソフトウェア投資	1
日本株銘柄情報：NITTOKU(6145)	2
日本株銘柄情報：ブリッジインターナショナル(7039)	3

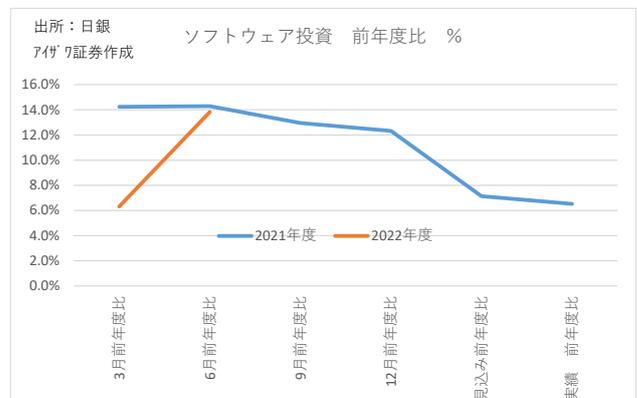
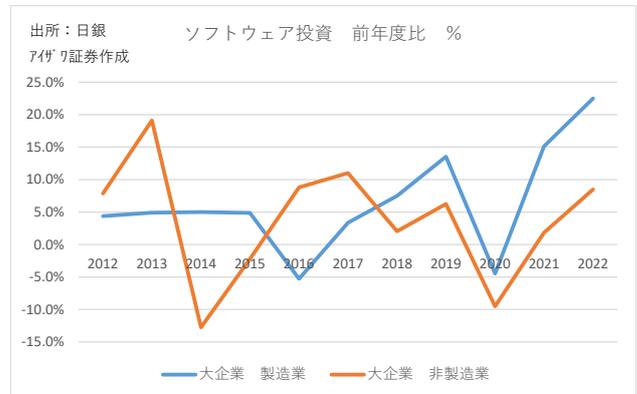
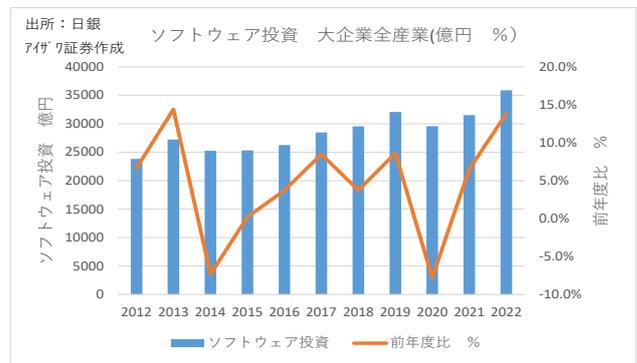
ソフトウェア投資

笹木 義次

企業のソフトウェア投資計画が堅調です。日銀短観 6 月調査の 2022 年度のソフトウェア投資計画によれば、大企業全産業のソフトウェア投資計画は、前年度比で 13.8% の増加計画となっています。中でも、大企業製造業のソフトウェア投資計画は前年度比 22.5% と大幅な増加計画となっています。大企業製造業が牽引役になっている事がわかります。

また、6 月調査の投資計画は 3 月調査に比べて上方に修正されています。ソフトウェア投資計画が増加計画になっている背景には、DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組む企業の姿勢があります。

2021 年度のソフトウェア投資の実績を見ると、3 月調査、6 月調査と 14% 超の増加計画となっていました。ただし、実績では前年度比で 6.5% の増加に留まりました。2023 年度も 6 月調査までは高い伸びの計画となっていますが、年度を通じて高い伸びとなるかどうか、9 月以降の調査に注視する必要があると考えています。



NITTOKU (6145)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/8/29) 2,553.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証スタンダード
 時価総額 462 億円

事業内容

NITTOKU は電子部品関連のコイルや車載用モータなどの生産設備を提供している精密FAメーカーです。コイル巻線機、巻線システム、周辺機器、組立ラインで構成されています。車載用モータ向けの生産設備に注力しています。車載用モータとしては、ステアリング、ブレーキ、ポンプに使われるモータです。また、電気自動車の駆動用モータの生産設備も提供しています。

第1四半期営業損失

NITTOKU の 2023 年 3 月期第 1 四半期の業績は、売上高が 44 億 7 百万円と前年同期比で 20.3%の減収に、営業利益は 10 百万円の営業損失となりました。売上高の減収は、部材や部品の調達が遅れており納期が長期化し売上高に計上される案件が減少したからです。売上高の水準が低いことから、営業利益は損失となりました。

受注順調

受注は順調でした。NITTOKU 単体の受注高は 66 億 98 百万円と前年同期比で 9.9%の増加となりました。モビリティの受注高が 35 億 47 百万円と前年同期比で 28.2%の増加となったからです。モビリティの受注は主に、車載用モータや車載用コイルとなっています。車載用モータでは、EV 駆動用のモータの生産ラインが含まれていると筆者は推測しています。

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	22,046	1,356	1,348	1,247	69.1	30.0
2022/3	28,121	2,885	3,030	2,308	127.8	40.0
2023/3計	32,000	3,300	3,300	2,500	138.4	30.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	18.4 倍
PBR	1.37 倍
予想配当利回り	1.17 %

上半期下方修正

NITTOKU では、2023 年 3 月期上半期の営業利益の計画を 13 億円から 9 億 50 百万円へ 26.9%下方に修正しました。上半期には利益率の低い製品の売上高の計上が見込まれるからです。利益率の低い製品とは、難易度の高い開発的な要素の強いものと筆者は考えています。おそらく EV 駆動用のモータの生産設備であると筆者は推測しています。上半期の利益の下方修正は前向きにとらえています。

業績計画

NITTOKU では、2023 年 3 月期の業績は、売上高が 320 億円と前年比で 13.8%の増収を、営業利益は 33 億円と前年比で 14.3%の増益を計画しています。モビリティを中心に受注が順調なことから、増収増益を見込んでいます。

筆者は NITTOKU の 2023 年 3 月期の業績は、売上高が 340 億円と前年比で 20.9%の増収を、営業利益は 35 億円と前年比で 21.3%の増益になると予測しています。受注が順調で受注残高が積み上がっていることから、会社計画を上回ると見えています。

3145 NITTOKU 業績 想定 21/2/22~22/8/29
 日付:22/08/29 開:2510 高:3886 安:2472 現値:2553.00 出来高:88.8
 買:0722定:単移平均[18]-----[26]-----MA18:2657.08 MA26:2408.08
 ST:出来高[13]-----[26]-----V:88.8 MA18:387.277 MA26:446.346



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

ブリッジインターナショナル (7039)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/8/29) 2,261.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証グロース
 時価総額 84 億円

事業内容

ブリッジインターナショナルは、インサイドセールス事業と研修事業の2つのセグメントから構成されています。インサイドセールスとは、法人営業を工程に分解して、分業化する事で効率的な営業体制を構築する事です。2021年12月期からは研修事業も行っています。

高い進捗率

ブリッジインターナショナルの2022年12月期上半期の業績は、売上高が34億70百万円と前年同期比で28.2%の増収に、営業利益は5億45百万円と前年同期比で47.8%の増益となりました。売上高の増収効果と総利益率の改善で、費用の増加を吸収し、営業利益は増益となりました。

2022年12月期上半期の会社計画に対する進捗率は、売上高が52.5%、営業利益は81.1%となりました。上半期としては高い進捗率となりました。

セグメント別業績

インサイドセールス事業の業績は、売上高が23億61百万円と前年同期比で18.6%の増収に、セグメント利益は3億20百万円と前年同期比で33.4%の増益となりました。主力サービスであるアウトソーシングサービスの売上高が21億12百万円と前年同期比で18.9%の

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/12	3,646	438	441	293	82.7	0.0
2021/12	5,593	644	649	493	135.6	0.0
2022/12計	6,612	672	672	450	121.1	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

指標	数値
今期予想PER	18.7 倍
PBR	2.53 倍
予想配当利回り	0.00 %

増収となり、増収に寄与しました。第1四半期は大型案件を受注しました。第2四半期は堅調に推移しました。アウトソーシングサービスに対しては需要が順調に増加しています。

研修事業の業績は、売上高が11億9百万円と前年同期比で55.0%の増収に、セグメント利益は2億28百万円と前年同期比で76.7%の増益となりました。第2四半期に新人研修が順調に伸長したからです。講師の内製化を行うなど費用のコントロールを徹底しました。

業績計画

ブリッジインターナショナルでは、2022年12月期の業績は、売上高が66億12百万円と前年比で18.2%の増収を、営業利益は6億72百万円と前年比で4.3%の増益を計画しています。2022年12月期は費用の増加を見込んでおり、営業利益の増益率は低くなっています。筆者は、ブリッジインターナショナルの2022年12月期の業績は、売上高が67億22百万円と前年比で20.2%の増収を、営業利益は7億31百万円と前年比で13.5%の増益を予測しています。利益率が維持されると見ている事から、増収増益を予測しています。

7039 ブリッジインターナショナル 2022/12/22~22/8/29
 日付:22/08/29 高:2180 低:2261 安:2164 開値:2281.49 出来高:20.3
 直120分平均:2180 移動平均(13):2180 移動平均(24):2180 MA13:2180 MA24:1880.31
 S1:出来高[13] --- C[28] --- V:20.8 MA13:65.485 MA24:72.919



© QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa